

木製品の特徴と注意事項

本カタログ掲載の木製品はすべて天然木を使用しております。木製品の特徴をよくご理解の上ご使用ください。

【木の性質】

- 柔らかさ 杉やひのきなどの柔らかい材は表面が打痕や傷がつきやすいです。テーブルやデスクに取り入れた場合は筆記具などの跡が残らないようにデスクマットをご利用することをお勧めします。
- 節 針葉樹は広葉樹に比べて節が多くみられます。商品によっては機能上問題のない節は残して、パテ埋めを施しております。節の数や大きさには商品ごとにばらつきがございます。
- 経年変化 時間が経つとご購入当初の色味から変化します。
- 変色変形 保管状況や施工方法、仕様環境により変色や反りや割れやねじれを引き起こす場合があります。また空気中の水分、床下からの湿度影響で「膨張」「収縮」などが生じ、不具合を引き起こす場合があります。

【集成材と無垢材】

- 無垢材とは自然のままの木材ですが、樹種が同じでもひとつひとつの個体差があり、品質が安定しないのが欠点です。集成材は無垢材をラミナと呼ばれる挽板や小片にして乾燥し、集成接着したものです。無垢材の欠点である反りや狂いや割れなどのを補うことで強度の向上と寸法が安定し、品質を均一化したハイテクノロジーな木材製品です。
- 内装に使われる集成材を造作用集成材、構造に使われる集成材を構造用集成材といいます。内装に使われる造作用集成材の表面に希少価値のある美しい銘木の突板で化粧貼りしたものを化粧貼り造作用集成材(突板貼造作材)と呼びます。自然な風合いと高級感があり、光の反射を抑える効果や調湿作用などの効能があります。

【木製品保管上の注意】

- 屋内の水平な場所におき、地面やコンクリートに直接置かないようご注意ください。
- ビニールシートで保護し、直接日光の当たる場所や湿気の多い場所での保管は避けてください。紫外線は変色、色あせ、反り、ねじれの原因になります。水分は表面のシミ、変色や反りを引き起こします。

【木製品の日常の注意】

- 天然木のため日焼けによる変形や割れが生じます。直射日光があたる場合は、なるべくカーテンやブラインドなどで日差しの調整をお勧めします。
- ホットカーペット、温風ヒーター、ストーブなどの熱が直接当たるような使い方は、目隙や表面割れを引き起こす原因となります。

【造作材施工上の注意】

- コンクリート、モルタルなどへの直接の取付けは避けてください。やむを得ない場合はカウンターの下部に台を設け、湿気が逃げる空気層を設けてください。また取付け後の換気空調や水・紫外線などの管理には充分気をつけてください。
- 冷暖房機の間近での使用は避けてください。
- 塗装での水打ちによる素地調整は行わないでください。
- 幅広カウンターとして施工する場合は裏面に吸い付き棧などの裏棧を取り付けてください。また壁の飲み込み部分には逃げをとってください。
- 階段に使用する場合は床からの湿気が上がってこないよう、合板を捨て張り等により階段下をふさいでください。



株式会社丸紀は木づかい運動に賛同しています。国産材を積極的に使うことは、CO₂を吸収する健全な森林を育成し、環境を守りながら地域を活性化させることにつながります。

【無垢フローリング施工上の注意】

- 広葉樹は天然木の性質上、膨張・収縮が起きるのを防ぐために、ある程度開梱した状態で施工現場の環境に十分馴染ませてください。
- 針葉樹は開梱後に長時間放置しますと、施工現場の環境により割れ、反り、ねじれ等を発生する場合がありますのでご注意ください。

○下地施工

- ・フローリングの膨らみを防ぐため、床下のコンクリートは含水率10%以下になるまで十分に乾燥させ、風通しを良くしてください。また、必ず耐水合板の下に防湿シートをしき込んでください。さらに、下地合板が湿気を含んでいないことを確認してください。
- ・床下の湿気が多い場合は、0.1mm厚以上の防湿シートを根太と捨て貼り合板の間にしき込んで施工するか、もしくはつなぎ目の部分にコーキングしてテーピングをし、床下からの湿気を防いでください。床下のコンクリートは表面が乾いていても、内部には水分を含んでおりますのでご注意ください。
- ・根太の厚みが一定でないと根太高に差が生じ、踏みなりの原因となります。また乾燥材を使用しないと施工後ねじれたり、痩せたりして踏みなりの原因となります。

<根太あり>

- ・大引きは90mm角以上、根太は45mm角以上の乾燥材を使用し、プレーナーで平滑に仕上げてください。
- ・大引き間隔は3尺(909mm)、根太は1尺(303mm)とし、レベルを出して施工してください。
- ・必ず合板の捨て貼りをし、合板は12mm以上の耐水合板を使用してください。また捨て貼り合板同士の間は2～3mmあけて施工してください。

<根太なし>

- ・大引きは105mm角以上の乾燥材を使用し、プレーナーで平滑に仕上げてください。
- ・大引き間隔は3尺(909mm)とし、レベルを出して施工してください。
- ・必ず24mm以上の耐水合板を使用してください。

○貼り込み

- ・天然木ですので、色合いや柵目など一枚一枚異なります。貼り始める前に仮並べし、色合いや柵目のバランスを確認した上で施工してください。
- ・極端に小幅材がこないよう、貼り込み前に割り付けを行ってください。
- ・下地合板のジョイント部とフローリングのジョイント部が重ならないようにしてください。

<広葉樹フローリング>

- ・施工は必ず接着剤とフロア用ステーブルの併用で行ってください。接着剤はF☆☆☆☆認定の1液型ウレタン樹脂系を使用してください。関連推奨接着剤/(株)オーシカセレクトィ UR-20、UR-21
- ・水溶性接着剤は床鳴りの原因となるため、使用しないでください。
- ・無垢専用接着剤を床材裏面に塗布してください。(広葉樹フローリングは必須です)接着剤の塗布を誤ると施工後の反りや突き上げやあばれ等の原因になります。サネやその近隣部には接着剤を使用しないでください。
- ・サネは強く叩き込み過ぎると、無垢材の性質上、反りや突き上げの原因となります。必ず同梱包の「スペーサー」を使ってジョイント部にクリアランスを取ってください。
- ・壁際は5～10mm程度隙間をあけてください。敷居・ドア枠・框なども隙間の確保をしてコーキング処理をしてください。

<針葉樹フローリング>

- ・サネの隙間を設けずに張り上げてください。
- ・接着剤を併用される場合F☆☆☆☆認定の1液型ウレタン樹脂系を使用してください。

○施工後の養生

- ・天然木のフローリングは施工後も呼吸しています。工事期間中の取り扱いも充分ご注意ください。
- ・施工後はすみやかに、ごみや塵などを完全に取除いてください。床材表面に細かいキズができるのを防ぎます。きれいに掃除したあと、表面保護のため養生シートまたは養生ボードにて全面覆ってください。
- ・養生テープを直接無垢フローリングに貼らないでください。粘着テープによって塗装が剥がれたり、粘着剤が材に付着し、汚れや変色の原因となる場合があります。

○メンテナンス

- ・冷蔵庫、ピアノなど重量物の脚部には必ず保護板などで床板にかかる重量を分散し、キズやへこみ防止をしてください。
- ・キッチン、洗面所など水をよく使用する場所には、水切りマットをしいてご使用ください。
- ・ワックスがけは3～6ヶ月に1回程度行ってください。ワックスがけの際は薄くムラなく均一に塗ってください。ワックスを多量に塗布すると製品の品質を損なうことがあります。
- ・ワックス施工後表面に低温の水などをこぼしますと白化する場合がありますのですぐ拭き取ってください。
- ・製品に適合したワックスをお使いください。
 - ウレタン塗装品・・・木質フローリング用水性樹脂ワックス
 - 自然塗装品・・・各自然塗料メーカー専用ワックス
 - 無塗装品・・・表面保護のため、白木用ワックスや柿渋や蜜ろうなどで保護していただくことをお勧めします。